



## 平成 24 年 6 月期 第 2 四半期決算短信 [ 日本基準 ] ( 非連結 )

平成 24 年 2 月 13 日

上場会社名 株式会社かんな丸 上場取引所 大  
コード番号 7585 U R L <http://www.kannanmaru.co.jp>  
代表者 ( 役職名 ) 代表取締役社長 ( 氏名 ) 佐藤 栄治  
問合せ先責任者 ( 役職名 ) 執行役員管理部長 ( 氏名 ) 菊田 聡 TEL 048-881-9056 ( 代表 )  
四半期報告書提出予定日 平成 23 年 2 月 13 日 配当金支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

( 百万円未満切捨て )

1 . 平成 24 年 6 月期第 2 四半期の業績 ( 平成 23 年 7 月 1 日 ~ 平成 23 年 12 月 31 日 )

( 1 ) 経営成績 ( 累計 ) ( % 表示は、対前年同四半期増減率 )

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 6 月期第 2 四半期	3,253	6.3	234	70.3	227	53.0	115	119.1
23 年 6 月期第 2 四半期	3,062	2.1	137	23.3	148	17.6	52	47.8

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24 年 6 月期第 2 四半期	26	78		
23 年 6 月期第 2 四半期	12	22		

( 2 ) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 6 月期第 2 四半期	4,828	3,947	81.8
23 年 6 月期	4,466	3,899	87.3

( 参考 ) 自己資本 24 年 6 月期第 2 四半期 3,947 百万円 23 年 6 月期 3,899 百万円

2 . 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 6 月期	- -	0 00	- -	16 00	16 00
24 年 6 月期	- -	0 00			
24 年 6 月期 ( 予想 )			- -	16 00	16 00

( 注 ) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3 . 平成 24 年 6 月期の業績予想 ( 平成 23 年 7 月 1 日 ~ 平成 24 年 6 月 30 日 )

( % 表示は、通期は対前期増減率 )

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	6,060 4.6	360 208.4	378 161.8	200 531.7	46 55

( 注 ) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年6月期2Q	4,351,308株	23年6月期	4,351,308株
----------	------------	--------	------------

期末自己株式数

24年6月期2Q	39,292株	23年6月期	39,211株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数（四半期累計）

24年6月期2Q	4,312,078株	23年6月期2Q	4,312,152株
----------	------------	----------	------------

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2．サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3．四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生による生産の減少や消費の低迷による厳しい状況からスタートしましたが、原子力発電所の罹災に伴う広域にわたる直接的な被害や、それに端を発した全国的な電力供給不足により経済活動が阻害される状況に加え、欧米各国のデフォルトリスク等に伴う円高も依然として進行しており、先行きが極めて不透明な状況で推移しております。

外食業界におきましては、東日本大震災に伴う自粛や計画停電に伴う一時的な営業制限から始まり、放射性物質による被爆リスクのある食材の流通や、牛肉の生食による食中毒死亡者の集団発生といった、飲食の安全・安心を脅かす事件が連続して発生し、経営を取り巻く環境はさらに厳しい状況となっております。

こうした状況の下、当社は既存店の活性化を図り、地域一番店を目指す方針に基づき、人材の発掘・登用を積極的にを行い、また、「わざわざご来店いただいたお客様」に感謝するためのきめ細かい施策を継続して実施するとともに、当第2四半期累計期間におきましては、「庄や」3店舗、「日本海庄や」1店舗、「うたうんだ村」1店舗を開店するとともに、「庄や」1店舗、「炉辺」1店舗を、それぞれ「やるき茶屋」に業態変更いたしました。

この結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は、大衆割烹「庄や」42店舗、「日本海庄や」38店舗、気楽な安らぎ処「やるき茶屋」6店舗、カラオケスタジオ「うたうんだ村」8店舗、無国籍料理「KUSHI949KYU」1店舗、コーヒー専門店「ドトールコーヒーショップ」1店舗、旬菜・炭焼「炉辺」1店舗の合計97店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高3,253,983千円（前年同四半期比6.3%増）、売上総利益は2,330,945千円（前年同四半期比6.7%増）、販売費及び一般管理費については2,096,122千円（前年同四半期比2.4%増）となり、営業利益は234,823千円（前年同四半期比70.3%増）となりました。

経常利益につきましては、227,214千円（前年同四半期比53.0%増）となり、税引前四半期純利益220,393千円（前年同四半期比130.7%増）、四半期純利益は115,473千円（前年同四半期比119.1%増）となりました。

### （2）財政状態に関する定性的情報

#### 資産及び負債の状況

##### （資産）

当第2四半期会計期間末における資産の状況は、現金及び預金を主とした流動資産の増加269,369千円、新規出店に伴う有形固定資産の増加86,394千円等により、総資産4,828,494千円（前事業年度末比8.1%増）となりました。

##### （負債）

負債は、期末直近月の仕入高の増加による買掛金の増加73,731千円、新規出店に伴う有形固定資産の取得に係る未払金の増加116,785千円、未払法人税等の増加116,761千円等により、881,085千円（前事業年度末比55.3%増）となりました。

##### （純資産）

純資産は、四半期純利益の計上、及び前期末未払配当金の支出計上等により、47,783千円増加し、3,947,408千円（前事業年度末比1.2%増）となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ356,241千円増加し、1,515,219千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は537,297千円（前年同四半期比57.9%増）となりました。

収入の主な内訳は、減価償却費158,654千円、貸倒引当金の増加による収入13,878千円、及び仕入債務の増加による収入73,731千円等であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加による支出13,456千円であります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は97,313千円（前年同四半期比48.3%減）となりました。

支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出82,712千円、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出153,014千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は83,742千円（前年同四半期比146.5%増）となりました。

支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出15,280千円及び配当金の支払額68,376千円であります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成24年6月期の業績予想については、平成23年8月12日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

イ．固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

ロ．法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。また、前事業年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

特有の会計処理

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,283,460	1,556,380
売掛金	36,490	49,947
商品	102	97
原材料	38,000	40,888
前払費用	81,915	75,613
その他	44,953	31,288
貸倒引当金	74	-
<b>流動資産合計</b>	<b>1,484,847</b>	<b>1,754,216</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	1,667,985	1,730,823
その他（純額）	328,944	352,500
<b>有形固定資産合計</b>	<b>1,996,929</b>	<b>2,083,323</b>
<b>無形固定資産</b>		
	15,878	15,354
<b>投資その他の資産</b>		
敷金及び保証金	825,903	839,927
その他	180,144	186,437
貸倒引当金	36,812	50,766
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>969,235</b>	<b>975,598</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,982,043</b>	<b>3,074,277</b>
<b>資産合計</b>	<b>4,466,890</b>	<b>4,828,494</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	126,417	200,148
1年内返済予定の長期借入金	31,948	29,440
未払法人税等	3,711	120,473
賞与引当金	1,900	2,200
その他	240,765	374,129
<b>流動負債合計</b>	<b>404,742</b>	<b>726,391</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	12,772	-
資産除去債務	147,149	152,692
その他	2,602	2,001
<b>固定負債合計</b>	<b>162,523</b>	<b>154,694</b>
<b>負債合計</b>	<b>567,265</b>	<b>881,085</b>

（単位：千円）

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,100	275,100
資本剰余金	88,500	88,500
利益剰余金	3,572,406	3,618,886
自己株式	35,311	35,396
株主資本合計	3,900,695	3,947,089
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,070	319
評価・換算差額等合計	1,070	319
純資産合計	3,899,624	3,947,408
負債純資産合計	4,466,890	4,828,494

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	3,062,458	3,253,983
売上原価	877,823	923,038
売上総利益	2,184,635	2,330,945
販売費及び一般管理費	2,046,732	2,096,122
営業利益	137,903	234,823
営業外収益		
受取利息	310	207
協賛金収入	10,017	4,475
その他	6,089	2,184
営業外収益合計	16,416	6,866
営業外費用		
支払利息	410	218
貸倒引当金繰入額	4,878	13,878
その他	555	378
営業外費用合計	5,844	14,475
経常利益	148,475	227,214
特別利益		
固定資産売却益	-	399
特別利益合計	-	399
特別損失		
固定資産除却損	304	4,549
投資有価証券評価損	-	2,671
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	52,653	-
特別損失合計	52,958	7,221
税引前四半期純利益	95,516	220,393
法人税、住民税及び事業税	37,902	112,823
法人税等調整額	4,920	7,902
法人税等合計	42,822	104,920
四半期純利益	52,694	115,473



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	95,516	220,393
減価償却費	150,626	158,654
貸倒引当金の増減額(は減少)	57,491	13,878
賞与引当金の増減額(は減少)	35	300
受取利息及び受取配当金	668	500
支払利息	410	218
有形固定資産除却損	304	4,549
投資有価証券評価損益(は益)	-	2,671
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	52,653	-
売上債権の増減額(は増加)	14,382	13,456
たな卸資産の増減額(は増加)	4,081	2,884
仕入債務の増減額(は減少)	65,699	73,731
長期未収入金の増減額(は増加)	61,011	1,046
その他	13,995	61,638
小計	363,629	520,241
利息及び配当金の受取額	668	500
利息の支払額	391	192
法人税等の支払額	23,562	4,082
法人税等の還付額	-	20,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	340,344	537,297
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	42,309	32,306
定期預金の払戻による収入	-	115,027
有形固定資産の取得による支出	139,545	153,014
敷金及び保証金の差入による支出	12,100	16,177
敷金及び保証金の回収による収入	1,166	-
その他	4,441	10,842
投資活動によるキャッシュ・フロー	188,347	97,313
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	50,000	-
長期借入金の返済による支出	15,280	15,280
自己株式の取得による支出	147	85
配当金の支払額	68,541	68,376
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,969	83,742
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	118,027	356,241
現金及び現金同等物の期首残高	1,356,092	1,158,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,474,120	1,515,219

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

当社は、料理飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。